

だいどう じ かのん やましゅつどう かん
80. 大同寺観音山出土陶棺

■ 指定日

昭和54年10月1日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

古墳時代後期

■ 所在地

朝来市山東町早田

■ 所有者

大同寺



■ 内容

昭和23年(1948)の秋、大阪市立大学が持ちかえり、研究のために保管していたが、昭和50年(1975)2月に返還・復元されている。蓋はない。

上狭下広に2段(幅約20cm、四隅は狭)、計40の区画を施す。区画を形成する唐突が脚部まで伸びていること、棺底・受部および脚部側面に円孔をもうけている点に最大の特徴がある。これらは、一般的な須恵質陶棺にはみられない要素である。

陶棺は但馬では珍しく、最古最大の貴重な資料である。